

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		3		作成日		30年 6月 29日		
事務事業名		林業経費						シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	4 快適なまち						課名	産業課		係名	土地改良係
		4-1 環境と共生するまちをつくる							シート作成者			
	施策	4-1-3 景観の形成						予算費目	会計		一般	
		① 景観の保全							款		6	
主要施策							項		2			
							目		1			
個別計画名												
住民との関わり		施策・事業評価における住民の意見の反映										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）							
	住民				暮らしに身近な森林を整備することにより、生活環境の保全や向上を図ります。							
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		危険木伐倒等業務・・・みえ森と緑の県民税交付金を活用し、これまで整備が進みにくく、荒廃が進んでいる緑地帯や森林地帯を対象とした整備を集中的に実施します。 また、人家裏や通学路沿いで倒木の恐れのある危険木の除去等も行います。 林業業務・・・森林にかかる許認可事務をはじめ、法定により整備することとなった林地台帳の整備と運用を行います。										
事業期間		昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input checked="" type="checkbox"/> 26年度 ~ 平成 30年度（5年間） <input type="checkbox"/> 期間設定なし										
根拠法令・要綱等		みえ森と緑の県民税条例 みえ森と緑の県民税市町交付金事業実施要領 森林法										
		平成28年度（決算）			平成29年度（決算）			平成30年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		0			5,630			31,146				
財源内訳	国庫支出金					0			0			
	県支出金					5,572			25,405			
	地方債					0			0			
	その他特定財源					0			3			
	一般財源					58			2,438			
直接事業費（千円）A		0			5,630			27,846				
人件費（千円）B		0			0			3,300				
内訳	一般職員（人・千円）		人	0	人	0	0.50人	3,300				
	臨時職員（人・千円）		人	0	人	0	人	0				
成果指標	成果指標名				単位	29年度		30年度		31年度		
						目標	実績	（目標）		（目標）		
	①	危険木伐倒本数			本	70	181	70		-		
	②											
③												
説明	危険木の伐倒本数を指標としています。 ※事業計画として、当初は笹尾・城山地区周辺の荒廃した緑地帯を集中的に整備します。 平成26年度に策定した調査・管理計画書を基に、事業を実施します。											

事業名	林業経費	シート作成課	産業課
-----	------	--------	-----

一次評価者	産業課長	二次評価者	建設部長
-------	------	-------	------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明		
	一次	二次			
	<b>必要性</b>	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	本来あるべき森林が持つ様々な機能を保全し、地域住民の安全・安心な暮らしを確保する上でも、重要な事業です。	
	<b>有効性</b>	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	森林整備を行うことにより、住民の意識の向上を図り、また地域（自治会単位）による自主的な活動を活性化することができるものと考えます。	
	<b>達成度</b>	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	実績により達成度を図ります。	
<b>効率性</b>	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	健全な森林づくり及び森林を支える社会づくりを推進する上で、最も有効な事業と言えます。		

本事務事業の実施適切性の説明

みえ森と緑の県民税交付金を活用し、暮らしに身近な森林を整備します。整備を行うことで自然環境の保全と森林が有する多面的機能の活性化を図り、合わせて生活環境の保全と向上を図ります。

一次評価	評価	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 B A D C	
	今後の方針	休・廃止		見直し		継続 ○	
	今後の改革・改善目標	平成26年度に作成した調査・管理計画に基づき、計画的に危険木の伐倒、剪定を実施していきます。					

二次評価	評価	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 B A D C	
	今後の方針	休・廃止		見直し		継続 ○	
	コメント	生活環境の保全や向上のため、住民の暮らしに関わりの深い森林について必要な対策を進める必要があります。					

二次評価に対する課の考え方							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する		
------------	------	----	------	---	------------	--	--